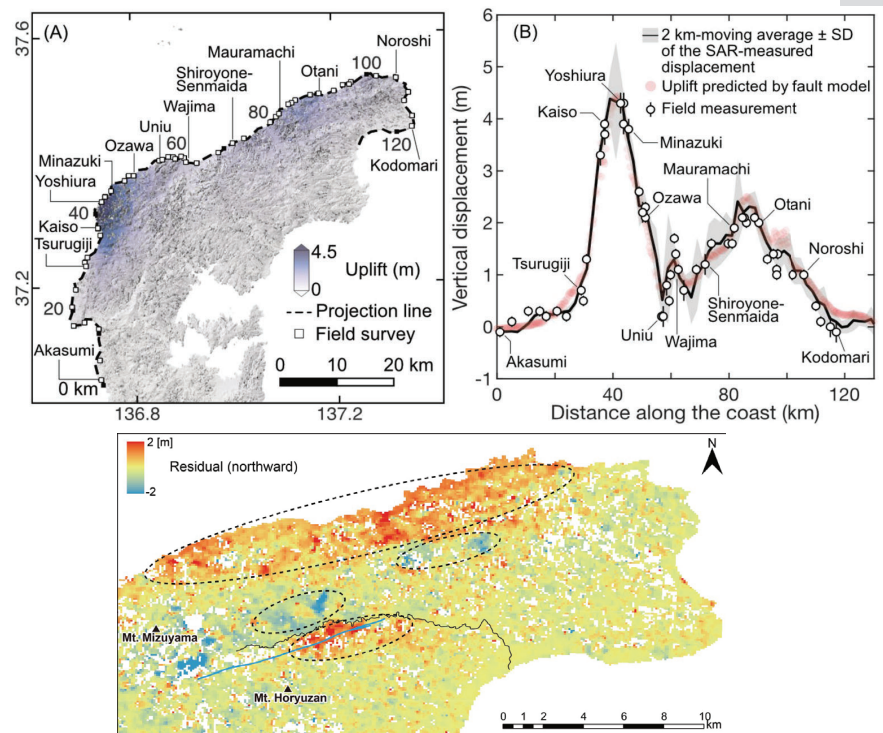
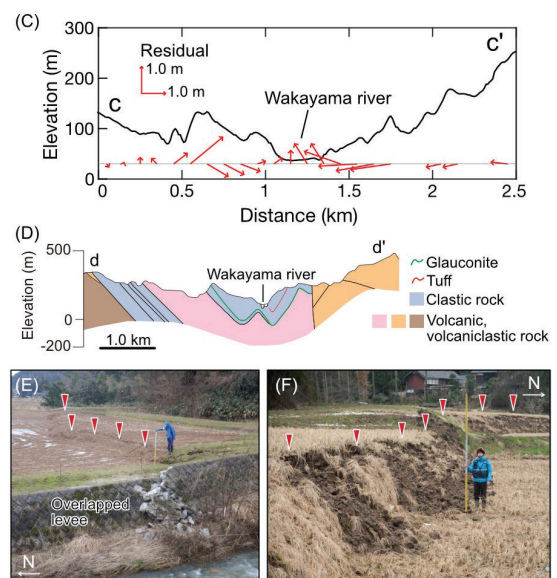


JAXAが運用する「だいち2号」の画像を解析することで

- 能登半島北岸で4m超の隆起が生じていたこと
- 隆起によって海底面が4.5 km²の面積で陸化したこと
- 山地において数kmのスケールをもつ斜面変動が発生していたことを明らかにした。



上の図は論文に掲載のもので、使用する場合は、「Fukushima et al. (2024, Science Advances)」と明記してください



地形学的現地調査では、半島北岸の52地点で、岩礁や岸壁に付着している生物遺骸（左図）を指標として隆起量を計測。この結果は衛星画像解析と矛盾しない。また、若山川沿いの崖地形については、衛星画像の解析結果と合わせて総合的に検討し、川の両側の斜面変動によるものと結論づけた。本研究はScience Advances誌に12月4日付けで掲載。

上の図は論文に掲載のもので、使用する場合は、「Fukushima et al. (2024, Science Advances)」と明記してください